

脳神経外科

片頭痛の新しい治療「予防療法」①

片頭痛患者は、840万人いると推定され、その約74%の人が生活に支障を感じ、寝込んでしまうことも。一方では片頭痛に対する認識は低く、医療機関を受診している人は30%にすぎません。

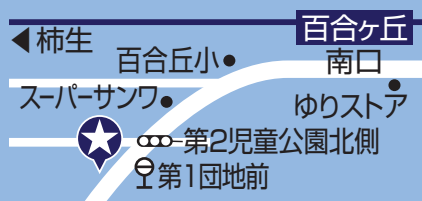
片頭痛発作は4〜72時間続き、片側のこめかみから目のあたりがズキンズキンとする拍動性の痛みが特徴です（実際は4

割が両側性の頭痛）。日常生活に支障を来し、日常的な動作でも頭痛は増強し、吐き気や嘔吐を伴うことが多く、発作中は光や音を不快と感じる人が多いようです。片頭痛は前兆を伴う場合があり、その前兆は、頭痛の前に起こる症状で、キラキラした光、ギザギザの光（閃輝暗点）といった視覚性の症状が多く見られます。その他



石田 和彦

■ 脳神経外科・整形外科
いしだクリニック



☎044-955-0250
麻生区百合丘2-7-1
<http://www.ishida-clinic.or.jp/>

半身の脱力、感覚障害（しびれ）、言語障害などの前兆もあります。通常は60分以内に前兆は終わり、その後頭痛が始まります。次回からは片頭痛を積極的に治す予防療法です。